

【取組内容④】「校内研究授業におけるクラウドを活用した授業研究」

- 参観者の少数化(多忙のため)
- 協議のための場所と時間調整が困難(勤務時間外に始まることも…)
- 協議記録の作成・蓄積・全体共有の複雑さ

課題

クラウド活用

「いつでも・どこでも・誰でも・何度でも」の実現
 ・無理なく、でも有意義な授業研究へ。
 ・研究授業の在り方を変革！

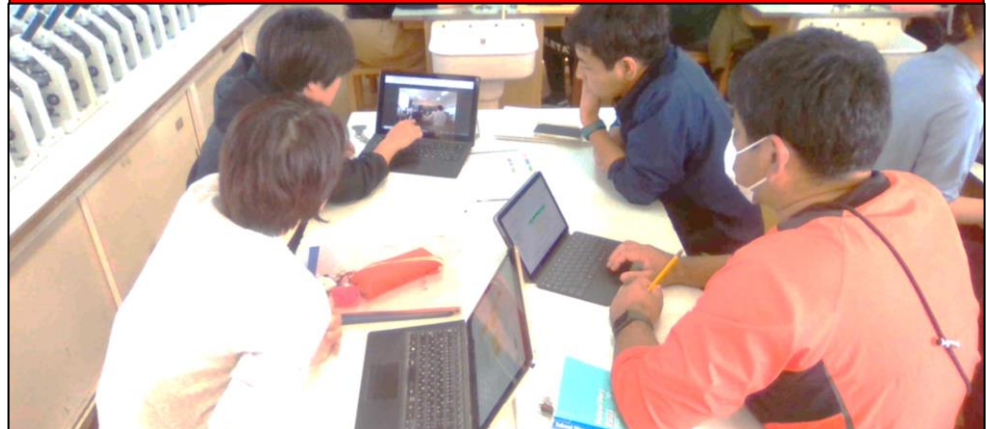
改善

<p>取組 ①</p>	<p>「デジタル資料の共有」 ・授業構想シートの事前共有 ・授業動画や画像の公開</p>
<p>成果</p>	<p>○未参観職員も後日視聴可能 ⇒ 全員が同じ話題で協議可能な環境 ○場面切り出しや繰り返し視聴が可能 ⇒ 課題の焦点化・要点化</p>

クラスルームに投稿。全職員で共有。
 ・授業構想シート(PDF) ・授業研究シート(ジャムボード) ・公開用の授業動画 ・活動の様子が分かる写真 ・削除しない限り記録として残る



授業動画を視聴しながら授業研究会を行う職員



【取組内容④】「校内研究授業におけるクラウドを活用した授業研究」

<p>取組 ②</p>	<p>「Googleジャムボードによる授業研究シートの作成と活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業研究シートを白紙共有 付箋機能で「気付き」のアウトプット 授業研究会は月1回（研究授業のたびではなく、まとめて行う）
<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○時間と空間の調整不要 ○授業前・授業中・授業後のいつでもアウトプットが可能 ○気付きを述べる（付箋記入）と同時に集約が可能 ⇒ そのまま記録・蓄積 ○未参観・未視聴の職員とも閲覧共有可能（追体験ができる） ○シートをもとに協議が進行 ⇒ 要点化と時短 ⇒ 集合型研修の回数が減

授業研究シート・・・「課題」「質問」のシートも作成

◎スライド2枚目...主に参観者が成果（良かった点・効果的な場面等）を付箋で示す。（※貼りながら系統分けするなど工夫する）

成果

動機付け

- 導入に、わかりやすい文章の具体例を考えさせる
- 一時間の流れがわかりやすく、何をやるのかを明確。（山田）
- ループリックを明らかにして、Sを目標として進めさせていた
- 「わかりやすい」or「わかりにくい」の2つの学習態度、その2つを明確に本文を伴って書き出し、両方とも意識を高くするという意識の強弱が示されている。
- 文字カウントというものがあつて、それを始めて知りました。ありがとうございます。
- 見直しやループリックが明確で、活動がスムーズ。質疑応答にもなっています。

学習方略

Think

- 根拠を全体で探し出しているため、その根拠が意見文を書く際のヒントとなり、下位の生徒も取り組みやすい。支援もしやすい。（山田）
- 付箋の内容が興味され、積極的に書いている。

多様な学び方

- 生徒たちが自然にグルーピング始める
- 宿題の形、考えの形を自分で調べ、資料の差を埋められている。
- 欠席者の本城が入ってきて、授業に参加している
- いつまでも意見を言える環境や質問がある。質問をすることで意見を交換しあっているように思える。（山田）
- 意見文を書く時間にもタブレット端末から作文用紙が活用できてよかった。

問題発見

見直し

協議シート(スライド)・・・小グループ・全体で共有

6班

DX的には「生徒一人一人が」学びのために使いこなすこと。デジタルで学びの在り方が変わること。

<p>①自律的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班単位で共通の課題を解決する場合、平等に自律的な学びは難しい...。（逆に理科の実験は個人だと難しい） ・「教え合い」と一言に言っても、平等な学びは難しい... ・デジタルも紙も準備となると、教員の準備は増える...？ 	<p>②学びに向かう力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班単位の課題は下位層の生徒には有効。 ・教え合う活動は、言語力の向上には有効。 ・各教科の評価の基準、材料が気になるところ... ・教科書の二次元コードを読み込んで活用している生徒がいた。 	<p>デジタル活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を以て「デジタル活用」とするのか。 ・プリントをPDF化してテレビに映す（数学）セクション毎にスライドをまとめ、Retellの時間に、それを使って教員に説明する。蓄積には有効。数学のグラフは難しい。文字入 <p>「紙のみ」よりは減る実感。デジタルでできることが圧倒的に多いはず。（アナログのみはデジタルありと比べてどうしても低量・低速・低質。デジタルでできる範囲までも紙だけでやろうとすると準備は膨大。デジタルメインに紙で補うがベスト。）</p>
---	--	--

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大村市立大村中学校（長崎県）

【取組内容⑤】 ストレスマネジメントや自己調整学習のスキルを高めるワーク「勁草」のオンライン公開

勁草のねらい	ストレスマネジメントやABC理論、アサーション等のコミュニケーションスキル、自己調整学習のスキル等のワークを通して、生徒のレジリエンスを高める
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○全校で週1回、帰りの短学活の時間を10分間延長して、10分間のワークに取り組みさせる ○毎回、ワークシートと指導用動画を準備し、クラウド上に保存した指導用動画を各学級で視聴させながらワークに取り組みさせる ○ワークの例：「ストレスサーモメーター」「リラックス呼吸法」「アドジャントーク」「アクティブリスニング（うめらいす）」「ABC理論」「学習スキル」
オンライン公開	<ul style="list-style-type: none"> ○指導動画をYouTubeで公開（www.youtube.com/@ojh8289）※今年度実施したものは全て公開 ○学校サイト内に「勁草」ページ（https://www.city.omura.Nagasaki.jp/omuratyu/kenkyu/keiso.html）を設け、各回のワークシートと指導用動画へのリンクを設定
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン動画で活動を進めることで、各学級担任は、生徒の活動の支援や見取りに専念できる ○生徒にとっては、「認知を変えて出来事をとらえる」「アサーティブな言い方を心掛ける」など、ワークに取り組んだ内容のスキルを身に付け、実生活で生かそうとしている ○指導用動画やワークシートを公開することで、他の多くの学校でワークに取り組むことができる

ワークシートの例

k504 **勁 keiso 草** Student ID Date

しなやかで折れない心をつくる Name

□現代は、ストレス社会と言われていて、大人に限らず子どもでも、SMSを見ることによる気疲れなどの多くのストレスのもととなるものに囲まれて生活しています。

■同じような環境で生活していても、みんな必ずしも同じようにストレスを感じているわけではありません。ここにストレスとうまく付き合うコツがありそうです。

劲草で 出来事と感情の関係の仕組みをつかみ、ストレスに対処できることに気付くことができる

ワーク 出来事と感情の関係


① 「朝から雨が降っていて夕方まで雨の予報が出ている」という出来事に対して、あなたはどのような気持ち（感情）になるか、そしてその理由を口を書く。

出来事	感情（あなたの気持ち）	理由
朝から雨が降っていて夕方まで雨の予報が出ている		

（感情の例）うれしい、楽しい、ムカつく、満足感がある、悲しい、やる気になる、期待する、さびしい、くやしい、イライラする、がっかりする、後悔する等

ワークシートはペーパーで配付。今後は、クラウド版ワークシートの開発と運用を検討

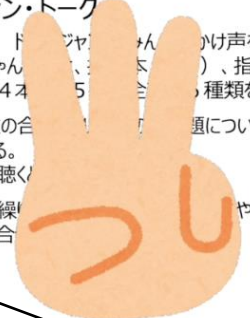
指導用動画



指導用動画の冒頭で、ファシリテーターがワークのねらい等を説明する

（ワーク）アドジャントーク

- ① 4人組で、「アドジャントーク」のかけ声をかけてじゃんけんをする。じゃんけんは、（グー、チョキ、パー）、指1本、指2本、指3本、指4本、指5本の5種類の指を出せる。
- ② 4人の指の本数の合計が最も少ない指の種類について、1人ずつ順番に話をする。
※他の人の話を聴く
- ③ ①、②を5分間繰り返す。話し合いのやりやめ、活動して感じたことを話し合



指導用動画で用いたスライド画面の例。ワークの手順等をスライドに示しながらファシリテーターが音声で説明する